

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日 ※リニューアル工事のため、12月17日(月)から休館いたします。

通常投映時間・内容(10月～12月)

11:00(投映時間約 50分)	13:30(投映時間約 60分)	15:00(投映時間約 60分)
ほしふるよるに ポケットモンスター サン&ムーン プラネタリウム	太陽系の惑星 銀河鉄道 999 ～赤い星ベテルギウス いのちの輝き～	4D2U 天の川銀河 宇宙の旅人 ～Voyagers of space～
ほしのおはなし(星空解説)	星空解説 ※12/15(土)「親子プラネタリウム」は別内容となります。	星空解説

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体 20名以上)	410円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート1枚につき、
高校生以上1名無料

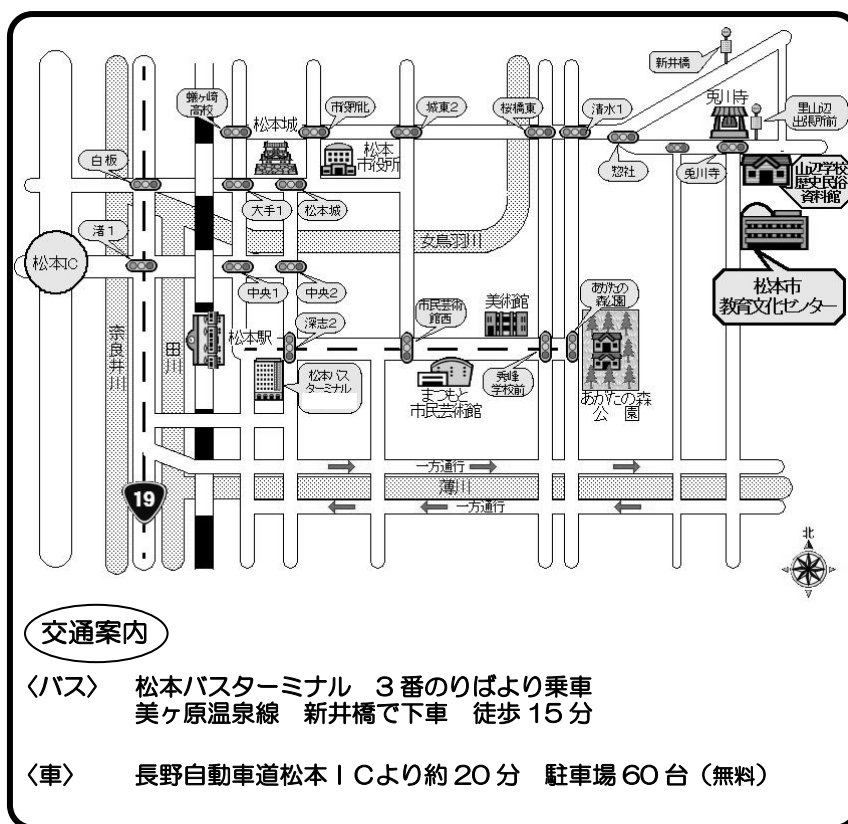
☆転入世帯優待券1枚につき、
1世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者1名無料

☆市内在住70歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp

☆ 教育文化センター プラネタリウム通信

ほしみる

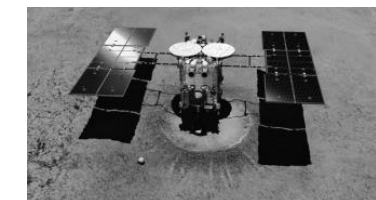
No.66 2018.12.1

2019年も星空とともに

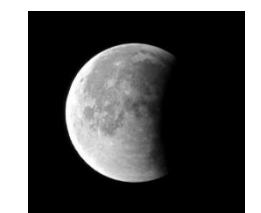
2019年は特に探査機はやぶさ2の活躍に期待が集まる年です。また、日食や月食も何回か発生し、年明けすぐの部分日食は、しぶんぎ座流星群とともに注目すべきイベントです。

2019年の主な天文情報

- 1月4日 しぶんぎ座流星群が極大(月明かりの影響なく、観測しやすい)
- 1月6日 部分日食
- 2月 はやぶさ2がリュウグウの表面にタッチダウン
- 3～4月 はやぶさ2がリュウグウの表面にクレーター生成(世界初の試み)
- 4～5月 はやぶさ2が生成したクレーターにタッチダウン(世界初の試み)
- 6月11日 木星がへびつかい座で衝
- 7月7日 火星食(惑星食、昼間起こる)
- 7月10日 土星がいて座で衝
- 7月17日 部分月食
(西日本で月没帯食、関西より東で半影月食)
- 8月13日 ペルセウス座流星群が極大
(月明かりの影響あり、観測しづらい)
- 9月13日 中秋の名月
- 11～12月 探査機はやぶさ2が地球に向かって出発
- 12月14日 ふたご座流星群が極大(月明かりの影響あり、観測しづらい)
- 12月26日 日没前に部分日食(東南アジア～太平洋上では金環日食)



©JAXA



主な天文用語

- ☆1流星群→毎年決まった時期に、空の1点から流星が放射状に飛び出す現象。地上からは、特定の星座から流星が飛び出して見えるため、流星群ごとに星座の名前が付けられます。特に有名なものは、三大流星群と呼ばれる「しぶんぎ座流星群」「ペルセウス座流星群」「ふたご座流星群」です。
- ☆2極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。
- ☆3日食→太陽が月によって隠される現象。太陽の一部が欠けて見えるときは「部分日食」と呼ばれます。
- ☆4リュウグウ→地球から比較的近い位置にある小惑星。水や有機物を多く含むC型小惑星で、地球の海の起源や生命誕生の手がかりがあると考えられています。探査機はやぶさ2が行うクレーター生成と地下物質の探査は世界初の試みで、新しい技術への挑戦となります。
- ☆5衝→外惑星(火星、木星、土星、天王星、海王星)が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晚中観測でき、大きく明るく見えます。
- ☆6星食→惑星や恒星が月によって隠される現象。惑星が隠されるときは「惑星食」とも呼ばれます。
- ☆7月食→月が地球の影に入り込む現象。月の一部が欠けて見えるときは「部分月食」と呼ばれます。月食の最中に月が地平線に沈んでいくことを「月没帯食」、地球の薄い影(半影)に月が入りこみうす暗く見えることを「半影月食」といいます。

星空クイズ!(12月の流星群編)

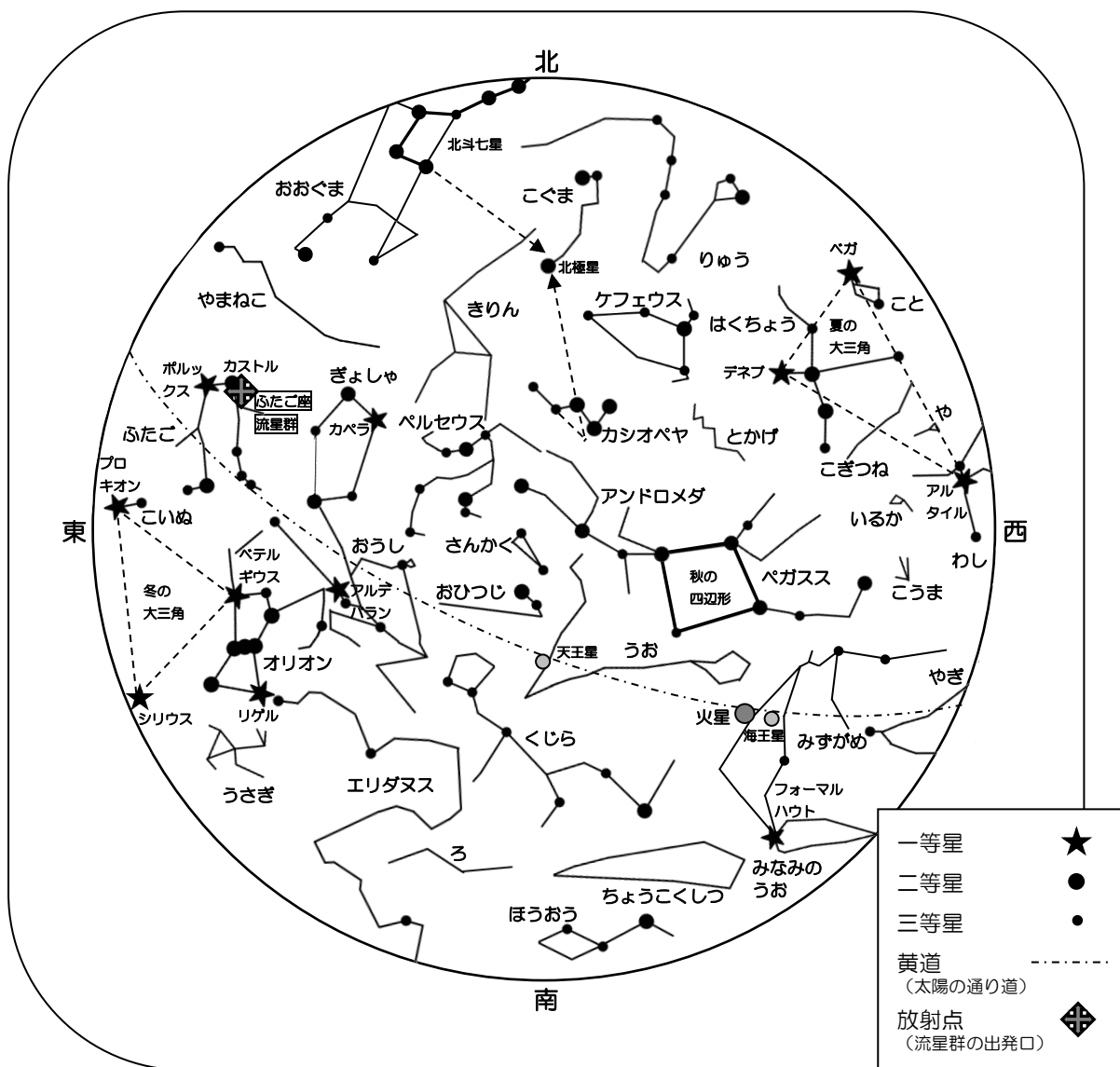
12月に極大を迎える流星群は?

- ①しぶんぎ座流星群 ②ペルセウス座流星群
- ③みずがめ座流星群 ④ふたご座流星群

#香葉頭コリス@松本

季節の星空

12月15日20時頃の松本の星空



12月の主な天文情報

- 2(日) 金星が最大光度(日の出直前) ★
- 4(火) 細い月と金星が接近(日の出直前) ★
- 7(金) 新月 ★
- 13(木) ウィルタネン彗星が近日点を通過 ★
- 14(金) ふたご座流星群が極大(23時以降は観測しやすい、極大時刻は21時)
(出現期間 12/5~12/20、極大時は1時間に約40個出現)
- 15(土) 水星が西方最大離角(日の出直前)、月と火星が接近(日没後~23時頃) ★
- 16(日) ウィルタネン彗星が地球に最接近 ★
- 22(土) 冬至、水星と木星が最接近(日の出直前) ★
- 23(日) 満月、ウィルタネン彗星がカペラ(ぎょしゃ座の1等星)に接近 ★

最大光度→地球から見て、天体が最も明るく見える時。★

近日点→惑星・彗星などが軌道上で太陽に最も近づく位置。★

西方最大離角→地球から見て太陽から最も西へ離れる角度。地上からは、日の出直前の東の空高い位置で内惑星が見える。★

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

12/15(土) ☆親子プラネタリウム 13:30~

親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。
今回は、市民ボランティアの方々による手づくり切り絵「一寸法師」を投映します。申し込み不要。当日先着90人

12/22(土) ☆太陽観測 9:00~10:15

天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。
専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。
(観測ができない天気の場合は中止となります。)

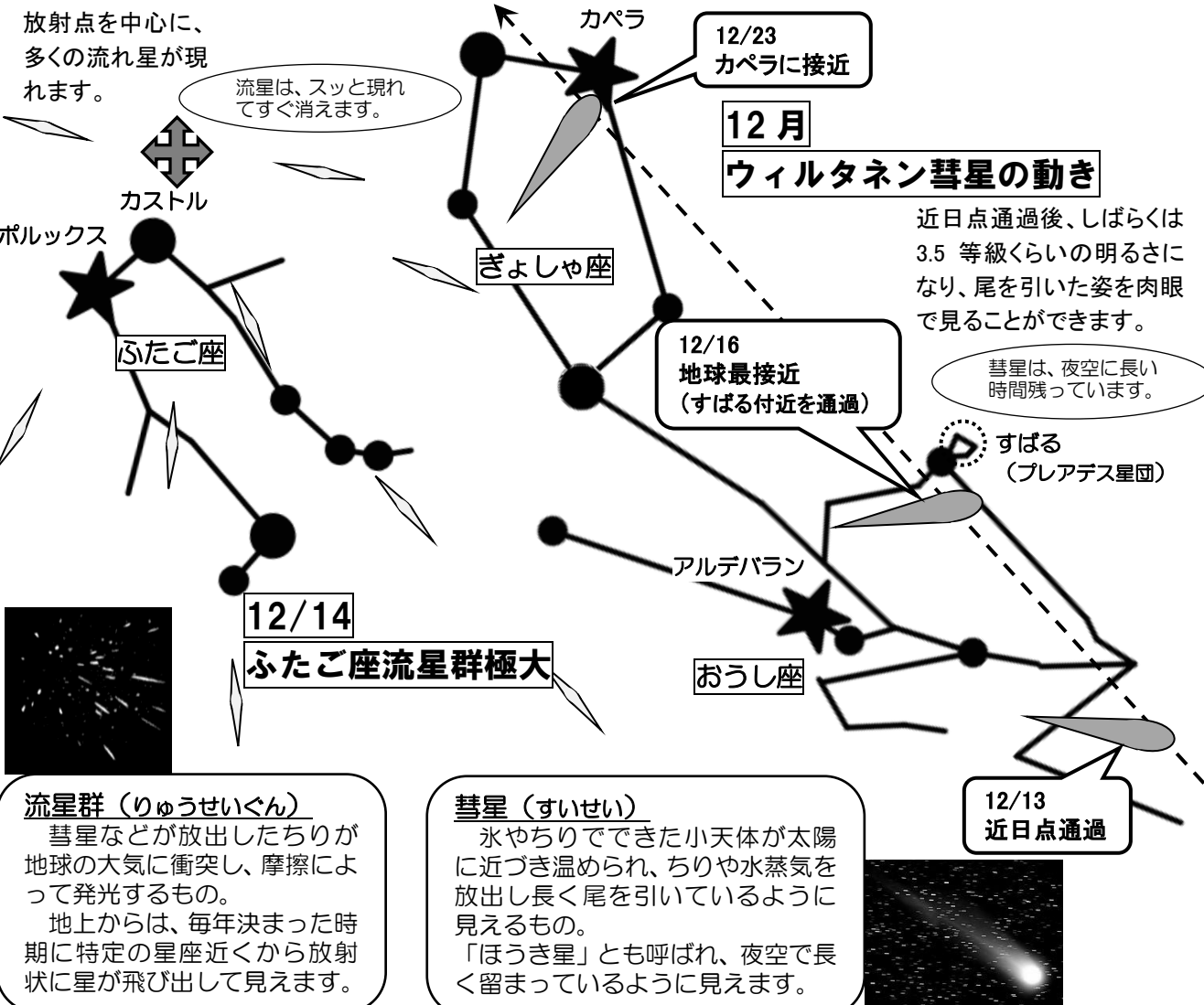
受付開始:12/15(土) 8:30~

定員:15人(小学生以上。小学生の方は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

12月の彗星・流星群

12月の夜空では、三大流星群の1つである「ふたご座流星群」と、肉眼で確認できる明るさと予想される「ウィルタネン彗星」が見所となります。暖かい格好で観測しましょう。



流星群 (りゅうせいぐん)
彗星などが放出したちりが地球の大気に衝突し、摩擦によって発光するもの。
地上からは、毎年決まった時期に特定の星座近くから放射状に星が飛び出して見えます。

彗星 (すいせい)
氷やちりのできた小天体が太陽に近づき温められ、ちりや水蒸気を放出し長く尾を引いているように見えるもの。
「ほうき星」とも呼ばれ、夜空で長く留まっているように見えます。

近日点通過後、しばらくは3.5等級くらいの明るさになり、尾を引いた姿を肉眼で見ることができます。

彗星は、夜空に長い時間残っています。